

私たちの道 MCWAYを感じる

地域貢献は地域創生にはつながらない、
ただの自己満足

1. 地域への想いと地域のお客さま支援

- ・和歌山に住み、大阪支社に通い、地元をはじめ、地域への貢献がしたいと思いながら、日々仕事をしています。
- ・都市部から離れたお客さまも長く支援させていただいている。
- ・前期は、多くの拠点展開をすすめることができ、特に地元・和歌山支社については2019年に入社した当時からの目標であったため、設置できたことはとても嬉しかったです(MCに入社した動機も地元への貢献でした)。

2. 気づいていた違和感に目を背けていた

- ・これまで、地域のお客さま支援をしながらも、「本当に地域のためにになっているのか」と時折考えることもありました。
- ・本当は、「地域をよくすることにつながっているとは思えない」と感じながらも、地域のお客さま支援をすることで、地域創生をしている気になっていた、もしかすると、違和感がありながらも、自分ひとりでは何もできないどこかで思っていたのかもしれません(個人として地域貢献はしているが、地域創生はできていない)。
- ・MC、エリアとしては地域創生の目標を掲げている手前、拠点展開を進めることや地域のお客さま支援をすることで、自分自身では「している気」、対外的には「しているアピール」をしていたのだと思います。

3. 新年度全体会議（事前準備）での気づき

- ・新年度全体会議にて、「地域のひとつのお客さまを支援しても地域はよくならない」という私自身の違和感をストレートに表現され、逃げていた自分に気づかされました。
- ・今期から改めて、エリア発表の内容を実現するため、地域を全体で捉えつつ、地域がよくなる仕組みを作り、実践し、想いを同じくするMCのメンバーの皆さんとともに、逃げずに地域が本当によくなる「地域創生」に挑んでいきます。
- ・まずは、3年前から種まきをし、ようやく形になってきた、和歌山の企業との連携(地域企業合同での人材育成、県労働政策課の受託事業など)が、地域を面で支援するモデル、多くの企業との接点をつくる機会となる可能性が高く、他地域でも展開できる仕組みとなるよう注力していきます。
- ・同社の主力としている採用・人材獲得支援分野での協業においては、地元の企業間で勝負するのではなく、都市部からの獲得や外国人材の雇用など、これまでとは異なるアプローチについても提案していきます。